

【事例】アニュアルレポートにおける事業別行政コストの開示（岐阜県美濃加茂市）

背景・目的

- 予算説明資料では、事業に直接かかるコストのみを計上している点に問題意識（各事業にかかる人件費や減価償却費が計上されていない）
- 事業別にフルコストを算定し、アニュアルレポートにおいて開示

事例概要

- 豪州の姉妹都市のアニュアルレポート等を参考に作成。前半において市政全般の情報を紹介し、後半で公会計情報を開示することにより、市政の理解の一環として公会計情報を読み解くことができる構成
- アニュアルレポート後半部分では、市全体の財務4表と連結財務諸表とその分析を行っている。加えて事業別行政コスト計算書を開示
- 各年度任意で抽出した開示対象事業（平成24年度は8事業）について、フルコスト、利用者一人当たりコストや市民一人当たりの税金等投入額を算定・開示

1 みのかも文化の森運営事業

文化振興課

事業別行政コスト計算書		利用者一人当たりのコスト	
(単位：千円)			
行政コスト	収入	1,049円 (H24年度利用者数 88,901人)	
①人にかかるコスト 3,158 (3.4%)	①特定の財源 2,875 (3.1%)	市民一人当たりの税金等投入額	
②物にかかるコスト 90,122 (96.6%)	②その他の財源 (純行政コスト)	1,643円 (平成25年4月1日人口 55,018人)	
③業務関連コスト 0 (0.0%)	90,405 (96.9%)	 (文化の森)	
④移転支出的なコスト 0 (0.0%)			
93,280 (100.0%)	93,280 (100.0%)		
事業概要			
「文化の森」では、常設展の企画や様々な体験活動・講座が開催されている施設です。 主なコストとしては、施設の設備保守に係る費用や光熱水費、減価償却費です（物にかかるコスト）。			

効果等

- アニュアルレポートにおける事業別行政コストの開示を始めて以来、議会での審議が活発化
- 事業別行政コストを活用して、受益者負担額の見直しを実施
- 事業別行政コスト情報は現在外部報告のために作成しているが、作成業務を定型化し、内部管理にも活用することが今後の課題